

なないろ明治

頬が赤いのは
光のせいだよ。

2014年12月13日(土)
2015年2月22日(日)

【休村日】12/15(月)、22(月)、29(月)、31(水) 1/13(水)~16(金)、19(月)、26(月)、2/2(月)、9(月)、16(月)

明治探検隊 特別編 最後の奇術師と消失の館

前予約

STORY
あなたは今日、八代目奇術天の奇術を観るためにこの館にやってきたゲスト。しかし、八代目奇術天が告げた奇術の内容は、驚くべきものだった。「アナタ達が今この館を、アナタ達ごと消失させる」突如として閉じ込められるゲスト。始まるカウントダウン。消失まで、あと1時間。アナタは、八代目奇術天の仕掛けた謎を解き明かし、消失を阻止できるか!?

前売券 ¥2,400
※事前予約が必要 ※期間内入村料別途
前売券発売箇所
タカラシティショップ e+ (イープラス) <http://eplus.jp> Yahoo! Pass Market

40万人以上が参加した謎解き宝探しゲーム「明治探検隊」が2015年春ファイナルを迎えるのに先立ち、明治探検隊初となる堂内型の謎解きイベントを開催!

開催日程
12月 13(土) 14(日) 20(土) 21(日) 23(火) 27(土) 28(日)
1月 10(土) 11(日) 12(月) 17(土) 18(日) 24(土) 25(日) 31(日)
2月 1(日) 7(土) 8(日) 14(土) 15(日) 21(土) 22(日)

【会場】三重県庁舎(重要文化財)
※毎日13:00~15:30の間のみ見学はできません。予めご了承ください。
【時間】①10:30~12:00 ②14:00~15:30
【定員】各回50名
【主催】RUSH JAPAN 株式会社

特別企画・展示

冬の限定グルメ

レーキのまんめん処 名古屋 50円
かにかのあんかけオムライス (明治の洋食屋オムライス&グルメ 浪復亭) 1,200円
フォンダンショコラプレート (食運楽のカフェ) 550円
沙留ホットショコラ (デンクブラン 沙留パー) 400円
ーフシチュー (明治の洋食屋オムライス&グルメ 浪復亭) 500円
ミネストローネ (藍芽ロールパン村) (食運楽のカフェ) 450円

しほ縄作り体験

12月13日(土)
|会場|近衛局本部付属倉
|時間|13:00~15:00
|料金|1,500円 |定員|15名
※事前電話予約 TEL:0568-67-0314
お正月に玄関などに飾る「しほ縄」を手作りしてみませんか?

ばっばるのえんぎもん

〜福を招き、夢を告げる人形たち〜
12月13日(土)~2015年2月22日(日)
|会場|宇治山田郵便局舎
2015年の干支である未の節土玩具と、「なないろ」にちなんだ7種類の福を招く節土玩具を展示します。

青の部屋

12月13日(土)~2015年2月22日(日)
|会場|聖ヨハネ教会堂1階
明治40年建設、かつて幼稚園として使われていた教会堂の1階を、約1万球の青色・緑色LEDで彩ります。会場にはハート型リースも登場!

Facebookやアプリで入村料割引!

12月13日(土)~2015年2月22日(日)
明治村公式 Facebook ページの「いいね!」または明治村公式アプリのダウンロードで、入村料100円割引! 入村窓口にて画面を提示しよう!

観覧フェア
「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!」 in明治村 協力/三重県
明治体感パートナー・松山フェア 協力/松山市

開村時間 10:00~16:00 休村日 12/15(月)、22(月)、29(月)、31(水) 1/13(水)~16(金)、19(月)、26(月)、2/2(月)、9(月)、16(月)

入村券のみ	乗物1日券付入村券	明治村住民登録券(年間/バスポート)	観光バス乗車割引券(大・小乗車)
大人(18歳以上)	1,700円	2,700円	3,500円
シニア(65歳以上、要証明)	1,300円	2,300円	2,500円
大学生(要証明)	1,000円	2,000円	2,300円
高校生(要証明)	600円	1,700円	1,300円
中学生	600円	1,700円	1,300円
小学生	600円	1,300円	600円

乗物1日券付入村券はSL運行日には販売いたしません。 ●明治村住民登録券(年間/バスポート)は登録当日の入村料は別途必要です。明治村内のみでの受付です。皇宮大土庫・明治村劇団セット券(大土庫・小土庫)の販売場所は皇宮大土庫・明治村の入口券販売窓口です。毎週土曜日の小・中学生入村無料制度は2014年4月5日をもって終了しました。

バス特別券	バス料
大土庫→明治村(前20分) おと2420円 こども210円	
8 43 50	5 20 43 50
9 0 58	20 43 58
10 7 58	27 43 58
11 14 58	34 43 58
12 21 58	41 43 58
13 28 58	48 43 58
14 35 58	55 43 58
15 42 58	62 43 58

※予告なく変更する場合があります。

観覧料
普通車 500円
バス(マイクロ含む) 1,500円
自動二輪・原付 200円

観覧案内図

愛知県大山市市内山1 | 明治村 | 検索
☎ (0568) 67-0314

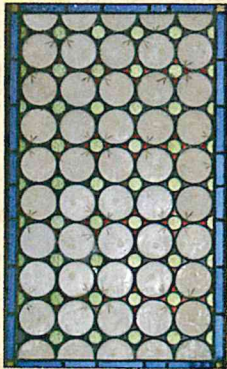
博物館 明治村 50th
愛知県大山市

f 博物館明治村 公式Facebookページを見て「いいね!」しよう。
www.facebook.com/meijimura

明治村公式アプリで もっと「楽しく」 もっと「便利」に!
明治村でも manaca 使えるようになりました。

明治村開村50周年記念 「木内真太郎 ステンドグラス歴史展」

12月13日(土)～2015年2月22日(日)



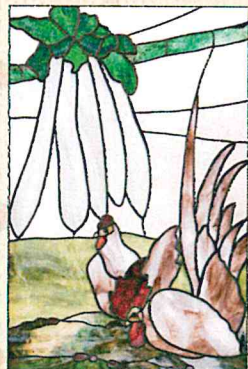
木内 真太郎(1880～1968)作

貝殻が全面的に使用され、色ガラスだけでは表現できない色彩や風合いが見どころの作品。



木内 保英(1937～2006)作

光の入り方や見るアングルによって龍の目の色に変化する見応えのある作品。



木内 英樹(1973～)作

シックな色を使うことで、和風なイメージを表現した作品。

会場 | 聖ザビエル天主堂

日本のステンドグラスは明治が始まります。そのパイオニアといわれる木内真太郎の作品をはじめ、孫、ひ孫三代にわたる作品を展示し、ステンドグラスの歴史を紹介するほか、時間によって表情を変える作品の工芸美をお楽しみいただけます。また、約5メートルの巨大ステンドグラスツリーや薔薇窓との観演も見どころです。



ワークショップ

1月25日(日)、2月15日(日)

講師 | ステンドグラス月光室

会場 | 聖ザビエル天主堂 | 受付 | 10:30～14:30 ※時間内に随時受付
料金 | 一回1,500円(所要約2時間) ※人数を制限させていただく場合があります。
ガラス工芸が盛んな瀬戸で活動するステンドグラス作家がわかりやすく指導いたします。自分だけのペンダントを作ってみませんか?

みけるもん! さがすもん!

～明治の文様いろいろあるもん～

12月13日(土)～2015年2月22日(日)

時間 | 10:30～15:30

受付 | 近衛局本部分館、帝国ホテル中央玄関

料金 | 1種類300円 完全7種類

建物や展示品に装飾されているさまざまな“文様”を、写真やシントを手がかりに探し出そう。見事クリアした方には、オリジナルの景品をプレゼント! 女たちやカップル、みんなで探して、ガッテン!!

文様探しの方法



◆景品◆

1種類のシャツクリア | 明治村オリジナル文様ピンバッジ
★全7種類のシートを全てクリアした方には、明治村お食事券を1枚進呈!



◆Wチャンス◆

参加者の中から抽選で、名鉄グランドホテル「レイボーディナー券」を10枚20名様にプレゼント。
※応募 | 名鉄グランドホテル



HAPPY! クリスマス

会場 | 聖ザビエル天主堂

キャンドルサービス

12月13日(土)～
2015年2月22日(日)

時間 | ①10:30～12:00
②13:00～15:00

料金 | 1回300円

通常では入ることのできない特別な祭壇内で、キャンドルに想いを込めてみませんか?
※他のイベント開催時は中止となります。ご了承ください。



ハンドベルコンサート

12月20日(土)

時間 | ①13:00～ ②14:30～

出演 | 金城学院中学校
ハンドベルクワイア

「天使の歌声」と呼ばれるハンドベルの音色をご堪能ください。

クリスマスコンサート

12月23日(火・祝)

時間 | ①13:00～ ②14:30～

出演 | コンプリオ

12月24日(水)

時間 | 13:00～

出演 | 師勝はなの樹幼稚園

クリスマスミサ

12月23日(火・祝)

時間 | 11:00～

あなたの大切な人と素敵な“とき”をお過ごしいただけます。

HAPPY! ニューイヤー

日本各地の門松・しめ縄めぐり

1月1日(木・祝)～25日(日) ※門松は12日(月・祝)まで
会場 | 正門、東松家住宅、宇治山田郵便局舎ほか



日本のあそび体験

1月1日(木・祝)～4日(日)

会場 | 食道楽のカフェ横芝生広場
※雨天時は無声

時間 | 10:00～15:00

風揚げや竹馬、羽根あきなど昔懐かしい遊びで、心も体もほかほか。

鏡割り

1月1日(木・祝)

会場 | 食道楽のカフェ横芝生広場
※雨天時は無声

時間 | 12:00～

協賛 | 東洋自慢酒造株式会社

書き初め道場

1月2日(金)、3日(土)

会場 | 三重県庁舎「彩の間」

時間 | 12:00～15:00

料金 | ①半紙5枚100円

※半紙持ち込みの方は無料 (お一人様5枚まで)。

先生が丁寧に書の手ほどきをいたします。

書き初めの宿題がある皆さん、集合! 大人の方も大歓迎!

餅つき

1月2日(金)、3日(土) ※雨天中止

会場 | 食道楽のカフェ横芝生広場

時間 | 13:00～

縁起物といわれるお餅をついて、新年をめでたくお祝いしましょう。※お餅の振舞いは、各自先着200名様限定

by日本けん玉協会「明治村けん玉教室」

1月18日(日)

会場 | 呉服屋 ※開催日は建物がいびおよび内部見学できません。ご了承ください。

時間 | ①12:00～ ②14:00～

定員 | 各回20名 ※事前電話予約 TEL: 0568-67-0314

(公社)日本けん玉協会の認定員によるパフォーマンスとけん玉教室を開催! 練習をしたあとはミニ大会を行います! 優勝者には明治村オリジナルけん玉をプレゼント。これを機に目指せ、けん玉名人!

地元酒蔵集結! SAKEフェス

日本酒 試飲

1月1日(木・祝)～25日(日)の土日祝

会場 | 菊の世酒蔵ほか

時間 | 11:00～15:30

10の地元酒蔵の新酒とびりたてを含まれた日本酒を試飲いただけます。

日本酒カクテル体験

会場 | アップタウン沙留パー

日本酒の新しい飲み方 サムライロックをお楽しみください。(有料)

日本酒 販売

販売 | ミュージアムショップ、SL東京駅売店

10の地元酒蔵の新酒とびりたてや選りすぐりの銘酒を販売。

日本酒がもっと楽しくなる3日間

1月10日(土)～12日(月・祝)

会場 | 菊の世酒蔵

* 甘酒振る舞い

12:00～(※先着100名様限定)

* さきSAKEイベント

13:00～14:00

あなたは味分けられるかな?

正解者には酒蔵ロゴ入りのお酒口をプレゼント

(各日先着50名様)

さらに1 常酒焼のお酒口を特別価格にて販売!

(13:00～15:30)

協賛 | 澤田酒造(株)、丸一酒造(株)、丸石醸造(株)、熱帯酒造(株)
山盛酒造(株)、金虎酒造(株)、神杉酒造(株)、中笠酒造(株)
山崎(資)、東春酒造(株)

HAPPY! バレンタイン

1月31日(土)～2月15日(日)の期間、お揃いの色でお揃いのアイテムをご持参のカップルは
入村料半額!
入村窓口にて、ペアアイテムをご提示ください。

バレンタインコンサート

会場 | 聖ザビエル天主堂

地元大学生によるバレンタインにふさわしい愛をテーマにしたコンサートをお楽しみください。

2月7日(土)、8日(日)

時間 | ①13:00～ ②14:30～

出演 | 新宮雅美(ソプラノ)ほか

2月11日(水・祝)

時間 | ①13:00～ ②14:30～

出演 | 名古屋芸術大学

2月14日(土)

時間 | ①13:00～ ②14:30～

出演 | 名古屋音楽大学





棟梁
の技
と心

Master Carpenters in
Japan,

China,

and Korea

日
中
韓

[竹中木工道具館開館 30 周年記念巡回展]

会場 = トヨタ産業技術記念館 | 特別展示室

開館時間 = 9 時 30 分 ~ 17 時 (入場は 16 時 30 分まで)

休館日 = 月曜日 (祝日の場合は翌日)

入場料 = 無料 (常設展は別途入場料が必要)

主催 = 公益財団法人竹中木工道具館

共催 = トヨタ産業技術記念館

企画 = 公益財団法人竹中木工道具館、水原華城博物館 (韓国)

後援 = 外務省、中華人民共和国駐大阪総領事館、駐日韓国大使館 韓国文化院



2015. 1. 17 sat — 3. 1 sun

棟梁の技と心

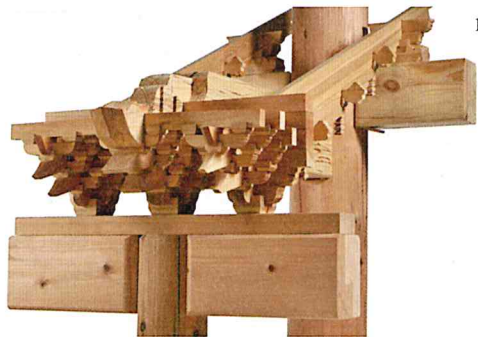
日中韓

紫禁城（中国）や景福宮（韓国）などの宮殿建築。壮大なその姿は豪華絢爛です。ドラマや音楽などの影響もあり、中国・韓国の文化に対する幅広い関心の高まりもみられます。一方で、中国・韓国の建築文化を支える職人の姿やその「ものづくりの精神」を知る機会ほとんどありません。本展で紹介するのは、日中韓の各国を代表する三人の棟梁。紫禁城、景福宮、薬師寺という東アジアを代表する建築ゆかりの最高峰の職人たちです。棟梁たちが手がけた迫力の建築模型や大工道具、設計図などが海を渡って一堂に会し、その技と心が交流する場を創出します。棟梁たちの「腕の見せどころ」の違いを際立たせながら、日中韓に脈々と受け継がれてきた棟梁たちの精神にも迫ります。

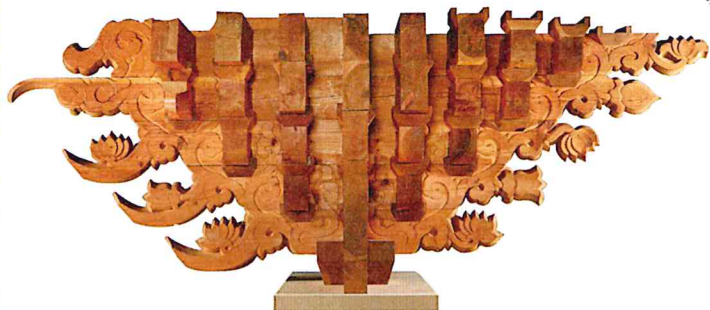
○映像作品
会場にて「官式古建築營造技芸—故宮に伝わる技」、「千年の命を吹き込む—韓国の大木匠」、「宮大工が語る日本建築の美と技」（各約20分）を上映します。

表面：景福宮勤政殿組物模型

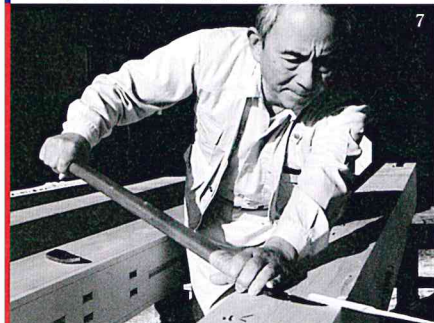
1. 紫禁城太和殿組物模型
2. 円明園万方安和燙様
3. 李永革
4. 救仁寺大祖师殿組物模型
5. 申鷹秀
6. 崇礼門（南大門）構造模型
7. 小川三夫
8. 鉋
9. 薬師寺東院堂模型



I.【中国】李永革—故宮に受け継がれる宮殿建築の技



II.【韓国】申鷹秀—韓国宮殿美を蘇らせる



III.【日本】小川三夫—古代工匠の技と心を伝える



〈記念イベント〉

講演会 _____

「日本の建築技術と意匠—中国・韓国との比較から—」

講師=藤井恵介（東京大学教授）

日時= 2015年1月25日（日）13:30～15:00

会場=トヨタ産業技術記念館ホールA

定員=先着150名（無料・申込不要）

実演 _____

「棟梁が語る日本建築の技」

講師=小川三夫（鶴工舎）

日時= 2015年2月15日（日）13:30～15:00

会場=トヨタ産業技術記念館ホールA

定員=先着100名（無料・申込不要）

◎アクセス

〈名鉄〉

名古屋本線「榮生駅」下車、徒歩3分

〈市バス〉

名古屋駅11番のりば「名古屋駅」行（循環）「産業技術記念館」下車、徒歩3分
名古屋駅8番のりば「なごや観光ルートバス“メーグル”」乗車「トヨタ産業技術記念館」停（敷地内）下車すぐ

〈地下鉄〉

東山線「亀島駅」下車、2番出口より徒歩10分

〈JR・近鉄〉

「名古屋駅」下車、徒歩25分または車5分

お問い合わせ

トヨタ産業技術記念館

名古屋市西区則武新町4-1-35

TEL 052-551-6115

URL <http://www.tcmiit.org/>





あいち防災キャラクター
防災ナマズン

あいち防災通信

第11号

発行
愛知県・あいち防災
協働社会推進協議会

阪神・淡路大震災から20年

～いま、私たちに出来ること～



写真(神戸市役所提供)

阪神・淡路大震災とは

平成7年1月17日5時46分、淡路島北部の北緯34度36分、東経135度02分、深さ16kmを震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。この地震によって、神戸と洲本(兵庫県)で震度6を観測したほか、豊岡(兵庫県)、彦根(滋賀県)、京都で震度5、大阪、姫路、和歌山などで震度4を観測し、東北から九州にかけて広い範囲で有感となりました。また、この地震の発生直後に行った被害状況の調査の結果、神戸市の一部の地域等において震度7であったことがわかりました。

この災害による人的被害は、死者6,434名、行方不明者3名、負傷者43,792名という極めて深刻な被害をもたらしました(消防庁調べ、平成17年12月22日現在)。

この地震は、内陸で発生した、いわゆる直下型地震であり、破壊した断層付近で非常に大きな揺れを生じ、神戸市を中心とした阪神地域および淡路島北部で甚大な被害を受け、多数の住民が避難所での生活を余儀なくされました。

また古い木造住宅の密集した地域において、地震による大規模な倒壊、火災が発生し、特に、神戸市兵庫区、長田区などでは大震災が多発しました。

気象庁はこの地震を、「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」と命名しましたが、政府は、災害の規模が特に大きいことに加え、復旧・復興施策を推進する上で統一的な名称が必要となると考えられたことから、災害名を「阪神・淡路大震災」と呼称することを平成7年2月14日に閣議口頭了解しました。

参考:内閣府防災情報のページ 阪神・淡路大震災教訓情報資料集 阪神・淡路大震災の概要
(http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/hanshin_awaji/earthquake/)

『阪神・淡路大震災から学ぶ 防災論』



阪本真由美氏
(名古屋大学減災連携研究
センター特任准教授)

阪神・淡路大震災が起きた時、私は神戸大学の学生だった。偶然海外にいたので、私自身は無事だった。ただ、家族のこと、友達のこと、学校のこと、何もかもが心配だった。午前5時46分、早朝に突然起きた地震で、美しかった港町神戸は一変した。北野の異人館は倒壊し、三宮の生田神社も社殿が倒壊、屋根だけ残った。住んでいた六甲道の駅も倒壊。商店街は焼けてしまい、神戸に戻ったときは、あまりに変わった街並みに茫然とした。

早いもので震災からもう20年だ。大きな被害を受けた街は震災後の再開により高層ビルが並んでいる。けれども、震災の記憶は消すことは難しい。昨年1月17日5時46分に行われた追悼式典で、隣にいた人が突然泣き崩れた。何年たっても、取り返せないもの、忘れられないものがある。

その一方で、時間は着実に過ぎていく。今の神戸の小中、高校生は、阪神・淡路大震災後に生まれた世代だ。自分自身の体験として阪神・淡路大震災を知らない。でも、日本全国のどこかの小中、高校生よりも震災に詳しい。これは、震災から学びを得る「震災学習」を積み重ねてきた結果である。震災が伝えたものは、災害の怖さ、つらさだけではない。命の大切さ、地域とのつながりなどもある。震災のさまざまな側面を、ボランティア活動、ハザードマップ作り、避難所設営体験などを通して学んでいる。

この震災学習を支えるうえで重要なのが教員の取り組みである。震災から5年を迎えた平成13年に、阪神・淡路大震災時に対応した経験を持つ小中、高等学校、盲学校、養護学校教員約100名から構成される「震災・学校支援チーム」が設置された。震災・学校支援チームのメンバーは、研修を開催し自らの知見を高めるとともに、県内の防災教育の質の改善、他の地域で発生した災害の支援を行っている。防災に携わる幅広い人的ネットワーク、人材育成が行われていることが持続的な震災学習の基盤となっている。

阪神・淡路大震災は「災害は、突然やってくる」という事実を突き付けた。私たちは、事前に準備していないことと、ときに対応できない。だから、必要最低限の知識と備えはちゃんと行う。自分の家の周りのリスクや、避難所くらはいを知っておく。いざというときのための水や食料を確保する。地震が起きたら、すぐにドアを開けて外に出られるようにする。靴は下駄箱に片付けず、すぐはけるようにする。水に困らないように湯船にお湯をためておく。どれも難しいことではない。日常生活の中でできることを積み重ねていくことが大切である。

阪神・淡路大震災の教訓

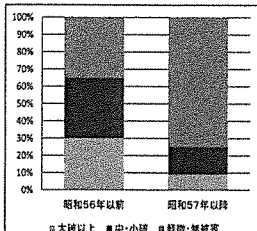
建築物による被害

阪神・淡路大震災では、建物内部における家具の転倒や天井落下による負傷者が発生し、それらが人々の避難を困難にさせました。また、地震の発生時刻が朝方であったこともあり、路上における人的被害は少なかったものの、発生時刻によっては、路上での家屋等の転倒や落下による被害の可能性があったと指摘されています。

現在の耐震基準は、昭和56年の建築基準法の改正に伴って導入された「新耐震基準」に基づいていますが、阪神・淡路大震災では、この耐震基準が導入された以前に建築された家屋（旧耐震基準）の被害が大きかったことが分かっています。左表のとおり、昭和57年以降の建築物では、大破及び中・小破の被害があったものが全体の25%であったのに対し、昭和56年以前に建築したものであれば全体の65%に達しています。家屋の耐震化について、あいち防災リーダー協会が様々な行事で「耐震相談室」の看板を掲げ、相談対応をしています。相談は無料で、耐震化アドバイザーの方が対応をしています。

耐震相談室の看板をご覧になった方は、相談してみたいかがでしょうか。

表＜建築年別の被害状況＞
(阪神・淡路大震災による)



(平成7年阪神・淡路大震災建築震災調査委員会中間報告より)

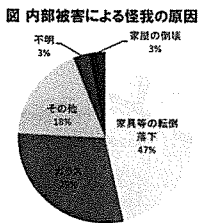
●あいち防災リーダー協会による家具固定方法の説明と耐震相談(ライフガードTEC2014にて)



左下の図は、阪神・淡路大震災時の負傷原因を表したものです。家具が負傷の原因の大半を占めており、家具の固定やガラス飛散防止等を事前に行う必要がある事を示しています。

高齢者のみが居住する世帯や障害者等が居住する世帯などを対象に、家具転倒防止器具等の購入費用の一部補助、家具転倒防止器具の取付補助を行っている市町村もあります。ぜひ、お住まいの市町村のHPをチェックしてみてください。

負傷原因の7割が家具とガラスによるもの!



日本建築学会「阪神淡路大震災住宅内部被害調査報告書」より

震災とボランティア

阪神・淡路大震災の発生後、数多くのボランティアがその救済や復興のために活躍しました。特に、社会人や学生がボランティアとして参加し、被災者のニーズに柔軟に対応したことが大きな特徴でした。震災が発生した平成7年は「ボランティア元年」と呼ばれ、ボランティアが目ざされたことにより、多くが任意団体であった既存のボランティア団体の立場を強化すべきという声が高まり、「NPO」として法人格を付与することが検討され、「特定非営利活動促進法(NPO法)」が平成10年に成立しました。愛知県とボランティアの関係性について、県は、災害時におけるボランティア活動を円滑に推進するために重要となる、平常時からの顔の見える関係づくりとネットワーク化の推進を図ることを目的として、ボランティア団体等と「ボランティアの受入体制の整備とネットワーク化の推進等に関する協定」を締結しました。この協定団体で構成する「防災のための愛知県ボランティア連絡会(構成団体数は平成26年11月時点で15団体)」を平成10年度に設置しました。さらに、「あいち防災フェスタ・防災&ボランティアフォーラム」などのイベントを共催するなど、平時からボランティア団体等との連携強化に努めています。

また、毎年実施している県の総合防災訓練の際には、ボランティアの方々がその能力を充分に発揮できるように広域ボランティア支援本部の立上げ訓練等を行っています。その他、ボランティアの資質向上や活動支援のために、平成8年度からのボランティアコーディネーター入門講座の修了者に対する「フォローアップ講座」を平成9年度から開催するとともに、平成20年度からは更なる向上をめざすための「レベルアップ講座」を追加して実施しています。

防災とボランティア週間 講演会

「阪神・淡路大震災」の発生を踏まえ、1月15日から1月21日までを「防災とボランティア週間」とし、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動の普及のための講演会、講習会、展示会等の行事を実施しています。

今年度は、愛知県では津島市、(一財)地域社会ライフプラン協会と「防災とボランティア週間」講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

＜テーマ＞ 阪神・淡路大震災から20年へ未来に向けて、今私たちができること～

＜日 時＞ 平成27年1月1日(土) 午後1時30分～午後4時

＜場 所＞ 津島市生涯学習センター(津島市篠原町宇橋木5番地)

＜講演①＞ 迫り来る地震・津波災害 ～正しく知って、正しく備える～

講師: 田所敬一 氏

＜講演②＞ 災害ボランティアの果たした役割と今後の課題～ボランティア元年から20年を迎えて～

講師: 栗田暢之 氏

＜参加対象者＞ 一般県民、災害ボランティア関係者、関係行政職員等(定員470名)

＜参加費＞ 無料 ※要事前申込み

※お問合せは、愛知県防災局防災危機管理課へ(電話 052-954-6190)



田所敬一 氏
(名古屋大学大学院環境学専攻 地震火山研究センター准教授)



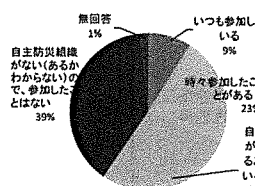
栗田暢之 氏
(特定非営利活動法人レスキュースタッフヤード代表理事)

県民意識調査結果より

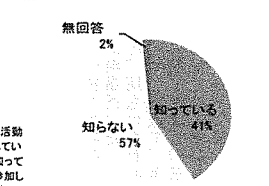
全国1位の活動カバー率、しかし実態は...

平成25年版消防白書によると愛知県の自主防災組織活動カバー率(全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている世帯数の割合)は95.0%(全国第1位)となっています。しかし、愛知県が平成25年度に実施した「防災(地震)に関する意識調査」の結果によりますと、住まいの地域に自主防災組織があるかどうかを「知らない」人は約6割、地域の自主防災活動に参加経験ある人の割合は、約3割強であり、自主防災組織の育成や、コミュニティの形成など、自主防災組織の活性化が課題となっています。

Q あなたは、自主防災活動に参加したことがありますか?



Q お住まいの地域に自主防災組織があるか、知っていますか?



平成25年度「防災(地震)に関する意識調査」より

自主防災組織について

阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から自力で脱出できなかった人の約8割が、家族や近所の住民等により救出されたことが分かっています。

これは、自助・共助による救出が多くみられたことと同時に、行政が全ての被災者を迅速に支援することが難しいこと、行政自身が被災して機能が麻痺してしまう「公助の限界」が明らかとなったことを示しています。阪神・淡路大震災後には、このような状況を前提として、地震から自らを守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」の強化を図るべきであるといわれるようになってきました。共助の1つの方法として、自主防災組織があります。

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織のことです。自主防災組織は、地域の危険箇所の把握、防災資機材の備蓄や防災訓練の実施など、日頃から災害に対する備えを実践するとともに、災害時には、初期消火や災害時要援護者への支援といった災害による被害を最小限に抑えるための活動を行います。「共助」の役割を十分に担えるよう、日頃から、地域の人々と防災活動に取り組みましょう。



昭和東南海・昭和南海地震から70年

昭和東南海・昭和南海地震とは

昭和東南海地震とは、昭和19年12月7日に三重県沿岸で発生したマグニチュード7.9の地震です。日本が敗戦の色を濃くしていた時代であり、地震の発生そのものが秘密扱いでした。それだけに、昭和東南海地震に関しては、資料も新聞記事も少ないといわれています。愛知県では、市町村誌や体験談集など地域に残る記録を参考にして「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド」を作成し、昭和東南海地震についての史跡も紹介していますので是非一度ご覧ください。(URL: <http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>)

また、右の写真は昭和東南海地震による半田市内の被災状況のものです。半田市では、震度6以上で188名の人が死亡したとされています。



半田市山方新田(元東洋紡西附近)『半田市提供』

昭和南海地震とは、昭和21年12月21日に潮岬南方沖を震源とするマグニチュード8.0の地震で、南西日本一帯では地震動、津波による甚大な被害が発生しました。津波は、静岡県から九州にいたる海岸に来襲し、高知・三重・徳島沿岸で高さ4~6mに達しました。

参考 内閣府『災害教訓の継承に関する専門調査会報告書』
愛知県防災会議「昭和19(1944)年12月7日東南海地震の被害と地震分布」
兵庫県『防災学習<津波編>』

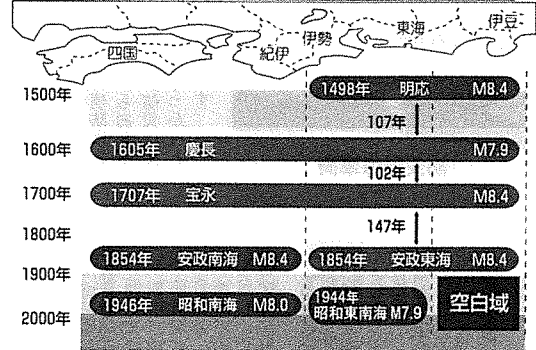
繰り返し起こる地震

日本列島の太平洋岸では、プレートの潜り込みによる地震が周期的に繰り返し起こっています。四国から伊豆にかけては、100年~150年の周期で、ほぼ同じ規模の地震が繰り返し起こっています。

1854年の安政東海地震・安政南海地震の後、1944年(昭和19年)の昭和東南海地震や1946年(昭和21年)の昭和南海地震が発生し、この地域の地震のエネルギーは放出されたと考えられております。しかし、静岡県の駿河湾から御前崎沖では、1854年の安政東海地震以来大地震がなく、地震のエネルギーが蓄積され(空白域と呼ばれる)、近い将来、大地震の発生が懸念されています。

◆「備えあれば憂いなし」この通信を読んでいるあなたは、すぐ備えに取りかかりましょう。

過去の主な地震



愛知県「防災・減災お役立ちガイド(地震編)」より



ワークショップの様子



紙ぶるを使った耐震性能実験の様子

防災・減災カレッジ開講!

災害被害の軽減に向けた県民運動を推進しているあいち防災協働社会推進協議会では、地域の産学官民が連携、協働して防災人材を育成する「防災・減災カレッジ(防災人材育成研修)」を平成24年度からスタートさせました。3回目となる今年度は、より多くの方に受講していただけるよう、実施回数2回に増やし、「防災基礎研修」を名古屋大学と豊田市福祉センターの2か所で開催したのを皮切りに、災害時にボランティアコーディネーターとして活動したい方向けの「防災V.C.O.コース」、地域防災の担い手を目指したい方向けの「地域防災コース」などの5つのコース(各コース3日間)と「啓発指導講座」、「救命救急講座」など3つの選択講座(各講座半日間~1日間)を実施しました。

さらに、今年度は新たに名古屋市の防災指令センターや県の災害情報センター、免震構造等の防災関係施設を見学する防災・減災ツアーを実施しました。



防災・減災ツアー(愛知県庁 無線統制室)



防災基礎研修(名古屋大学)

防災・減災カレッジ協賛金のお願い

防災・減災カレッジは、参加者の受講料と企業や県民の皆様からの協賛金により運営しています。今後、持続的な防災人材育成の仕組みとしてこの事業を定着、発展させていくためには、企業や県民の皆様のご理解とご支援が必要です。地域の安全、安心と将来を担う防災人材育成の重要性、必要性をご理解の上、この事業にご協賛いただきますようお願い申し上げます。

協賛金に関して、詳しくは下記ホームページをご覧ください。

◎あいち防災協働社会推進協議会のホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/0000003405.html>

◎愛知県防災局防災危機管理課 ☎052(954)6190

このセミナーを今後も継続していくことで、いつか必ずやってくる大地震などに対して、地域の防災力の向上に貢献できる若い人材が次々と育ち、防災の輪が広がっていくことを期待しています。

昨年度からの参加15校

- <名古屋市立> 山田 <私立> 中京大学附属中京、誠信
- <県立> 旭丘、松蔭、瀬戸商業、小牧南、木曾川、佐織工業、横須賀、豊野、岡崎、知立東、豊橋工業、蒲郡(県不詳)

今年度からの参加15校

- <名古屋市立> 工芸 <私立> 清林館、岡崎城西
- <県立> 明和、熱田、春日井西、尾北、一宮北、佐屋、半田商業、松平、岡崎西、西尾東、豊橋商業、蒲郡東(県不詳)

高大連携高校生防災教育推進事業
「高校生防災セミナー」

愛知県・名古屋市総合防災訓練

平成26年10月27日(月)、名古屋駅とその周辺及びノリタケの森で、愛知県と名古屋市の共催により、防災関係機関、駅周辺の事業所など74の機関から、総勢約2,700名が参加した総合防災訓練を実施しました。

県が名古屋市と共催で地震想定の実働訓練を実施するのは平成17年度以来9年ぶり、名古屋駅周辺を会場として行うのは、昭和56年度以来、実に33年ぶりとなります。

今回の訓練では、南海トラフ巨大地震により名古屋市内で最大震度7の地震が発生し、鉄道等の公共交通機関がストップして多数の滞留者が発生した状況を想定し、帰宅困難者への支援対策に重点を置いたものとなりました。

また、駅前の公道及び実際のビルを使って、建物内に取り残された方を救出する訓練など、県民の方々が実際に事業活動や生活を送る場を会場とする事で、例年にも増して、実践的な訓練を行うことができました。

東日本大震災では、首都圏で多数の帰宅困難者が発生しました。今回の訓練では、そうしたことを踏まえ、また、スマートフォンなどの情報端末の普及を背景に、ツイッターやフェイスブックを活用して、帰宅困難者の方自身で一時避難場所の開設情報を入手し、適切な場所に移動していただく取組を行いました。



被災車両からの救出救助訓練(名駅通)



帰宅困難者の受入・帰宅支援訓練(ノリタケの森)

あいち防災フェスタ (あいち防災協働社会推進大会) 防災&ボランティアフォーラム が開催されました!

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、地域の防災力を高めるため、県民や自主防災組織、企業、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組み、防災協働社会の形成を推進することが重要となっています。こうした中、防災意識の向上や災害ボランティア活動への理解の促進を目的とするあいち防災フェスタ(あいち防災協働社会推進大会)・防災&ボランティアフォーラムが「あいち地震防災の日」の平成26年11月9日(日)に愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で開催されました。



防災貢献団体表彰

セルモニー終了後、会場となった地球市民交流センターでは、瀬戸市消防団応援サポーターの佐藤祥さんによるライブステージが行われたほか、各ブースにおいて炊飯体験や豚汁の炊出し、災害時に役立つ知識の紹介や津波・大規模風水害対策車を始めとする防災関係車両の展示などが実施されました。子ども用防火衣を着用して消防車記念撮影等、子どもからお年寄りまで、楽しみながら防災に関心をもっていたたくさんの方が参加していました。



ご当地キャラもやって来ました



佐藤祥さんライブ



防災関係車両

あいち防災リーダー会(三ツ山(江南市))
大山、小牧、大口、扶桑、江南の5市町で開催した「5市町防災カレッジ」において、講師として講話の実施。市内の自主防災会防災訓練では、防災資機材を持ち込み、地域住民に防災資機材の使い方を見せながら周知しています。

飯村校区防災会連絡協議会(豊橋市)
連絡協議会設立後から現在まで毎年防災訓練を実施しており、小学校児童が授業の一環で行った防災に関する取組を防災訓練内で発表する場を設けています。地域が一体となった校区防災訓練を実施し、災害に強いまちづくりを進めています。

香久山区自主防災会(日進市)
「地域ぐるみの防災・減災」を目指し、「連携」をキーワードとして、毎年防災イベントや訓練を実施しており、参加できなかった住民に対してはホームページや香久山自主防災通信の発行・配布を通じて防災意識啓発を図っています。このような取組が評価され、今年度、防災功労団体として防災担当大臣表彰を受賞しました。

白山町内会連合会(春日井市)
倒壊家屋からの救出救護訓練や放水訓練など、災害時に役立つ防災訓練を実施した結果、白山町内会(全9地区)のうち、3地区が自主防災組織を新たに発足し、町内会全てが自主防災組織を設置しました。

玉置西二区自主防災会(武豊町)
区単位の防災訓練、常会単位の安否確認・助け合いを重視した防災訓練を実施。また、武豊町役場と共同で、耐震診断受診のPRを区内全ての昭和56年以前の家屋を対象に実施しています。

つっしが丘防災会(知多市)
災害発生時の安否確認と被害状況の早期把握を図るため、安否確認用データベースを整備しています。また、発災前後の行動について防災会の方針を示す「つっしが丘災害時行動マニュアル」を作成し、訓練を通して逐次修正しています。

土器町内会地区防災組織(安城市)
資機材取扱訓練では、資機材の取扱方法を外国人住民がポルトガル語で通訳して実施しています。訓練参加の呼びかけのための回覧をポルトガル、スペイン語表記にしており、外国人の訓練参加率は9割を超えています。

豊橋市赤十字奉仕団(豊橋市)
豊橋市主催の総合防災訓練に毎年参加しており、炊き出し訓練を実施しています。各校区防災訓練への参加、災害時における高齢者に対する支援の方法を伝える健康生活支援講習の実施をしています。

豊山小学校校区自主防災会(豊山町)
地域の避難場所や街頭消火器、AED、井戸等の場所を詳しく記した地域防災マップの作成や防災を課題とした地域力向上を目指す定例会を月一回開催し、話し合いや情報交換の場を設けるなど、地域防災力の強化を行っています。

花立自主防災会(扶桑町)
毎年、地区で防災訓練を実施し、内容は救出訓練、初期消火訓練など。平成23年度からは、自主防災会内の災害時要援護者を地図にしてまとめた花立防災地図の作成をしています。また、避難経路の点検調査を行っています。

平成26年度 防災貢献団体表彰受賞団体の取組を紹介します! ※五十音順

あいち防災協働社会推進協議会より



公益社団法人愛知建築士会 廣瀬高保 会長

今回は、あいち防災協働社会推進協議会委員の公益社団法人愛知建築士会廣瀬高保会長にお話を伺います。まず、愛知建築士会とはどのような団体ですか。

(公社)愛知建築士会は、建築士の資格者を正会員とする団体で、昭和26年に設立し、現在22支部で構成され、正会員、準会員、賛助会員合わせて4,280名余り(平成26年10月1日現在)の会員が登録しています。

平成23年4月に公益社団法人となり、主な公益目的事業は愛知県内における一級、二級、木造建築士の試験の実施、免許証明書の発行、建築士の登録及び建築士名簿の閲覧業務です。建築士の資格を取るための講習会の開催及び3年ごとに義務化された一級・二級・木造建築士の定期講習会も行っています。文化的な事業としては文化財建造物の保存、活用に向けた助言や未登録文化財を発見し登録に協力できる人材を養成するあいちヘリテージマネージャー養成講座を毎年開催しています。今年4期生の講習が始まりましたが、人気のため受講者を抽選で決定している状況です。古建築の伝統的構法設計・耐震補強の考え方を学ぶ木塾(ぼくじゅく)という講座もあり適宜講習会を開催しています。また地域貢献活動を実施している団体に対して募集を行い選出された事業に助成を行っています。毎年吹

上ホールにて中部経済新聞社と共催で建築総合展を開催していますが、今年のテーマは「建築がつなく明日への希望」と題して行いました。耐震・免震・制震コーナー等を充実させ、3日間で23,440名の方に会場いただきました。一愛知建築士会の防災に対する取組を教えてください。民間木造住宅耐震診断事業を毎年行っており、平成25年度は春日井市始め36市町村より受託し2647件の診断業務を実施しました。非木造建築物についても、耐震対策緊急促進事業の運営団体のメンバーとして耐震診断業務等を実施する体制を整備しています。大規模地震発生時における応急対策活動に関する支援協力の協定を現在27市町と締結しています。応急危険度判定士に登録した会員は支部ごとに連絡網で組織され判定

模擬訓練、連絡訓練を随時実施しており災害発生時には素早く参集できる体制を取っています。また各支部においても個別に防災・減災関連の研修会等を実施しており、地元自治体との連携強化に努めています。一防災協働社会を推進していくには、どんな取組が大切だと思われるか。地震、津波等自然災害に対する事前の防災・減災策、被災した後の市街地の復旧・復興策については自治体との連携が大切であり、すでに一部の自治体と締結している防災協定がより効果的に運用されるように自治体と建築士会の活動について定める、支援活動マニュアル等を整備していく必要があります。一ありがとうございました。災害被害を軽減するため、地域の人々が互いに協力することが大切ですね。